明石工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語Ⅴ

科目基礎情報

科目番号	0101	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	機械工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	身近な科学の世界　Science Explorer (Macmillan Languagehouse), Data Base4500(桐原書店）, Next Stage(桐原書店)		
担当教員	北川 千穂		

到達目標

(1)英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつけるとともに必要な語彙力をつける。
(2) 音声教材を用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかる。
(3)現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につける。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつけるとともに必要な語彙力を十分につけることができる。	英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつけるとともに必要な語彙力をつけることができる。	英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつけるとともに必要な語彙力をつけることができない。
評価項目2	付属の音声教材を用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上を十分にはかることができる。	付属の音声教材を用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかることができる。	付属の音声教材を用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかることができない。
評価項目3	現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を十分に身につけることができる。	現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につけることができる。	現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につけることができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (E)

教育方法等

概要	グローバル化時代の技術者として必要な英語力をつけるために、英語の語彙力や読解力を向上させる。また、読解に必要な構文や文法の知識を身につける。
授業の進め方・方法	毎時間、語彙力の確認テストを実施する。英文を読んで、その内容の理解を確認する演習問題を解く。CDを用いてリスニング力をつける。既習事項を参考に英作文の練習をする。適宜、課題を課す。
注意点	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要となる標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。前もって配布された課題を確実にやってから授業に出ること。日々の自宅学習によって英語力の向上に努めること。理由なき遅刻や欠席で受験できなかった小テストは0点扱いとする。合格の対象としない欠席条件(割合)　1/4以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		2週	Unit 1	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		3週	Unit 2	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		4週	Unit 3	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		5週	Unit 4	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		6週	Unit 5	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		7週	Unit 6	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	Unit 7	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		10週	Unit 8	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		11週	Unit 9	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		12週	Unit 10	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		13週	Unit 11	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		14週	Unit 12	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		15週	Unit 13	各Unitの英文について理解し、適切に運用することが出来る。
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0